

(様式4)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	1 3	学校名	宇都宮市立 峰 小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-------------

令和2年度 健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

身体測定の結果を全国・県の平均と比べると、身長はほぼ同等かやや高めの学年が多いが、体重は学年男女によってばらつきが見られる。また、肥満傾向にある児童は全国平均とほぼ等しく、男子は8.11%、女子は6.83%である。視力は、学年が上がるにつれ視力の低下がみられるが、視力Aの児童の割合が72.2%と昨年度を約10%も上回った。歯科については、むし歯が1本もない児童が58.8%、むし歯の処置完了者が28.3%と全国・県と比較しても高い割合にある。しかし、学年によってはむし歯の罹患率が高かったり、未処置歯がある児童が多かったりと差がある。

体力は全体的な傾向としては、男女ともに全国平均(2017年度)・県平均(2018年度)を下回る項目がある。男女とも、握力・50m走の記録が低い。このことから、本校児童は、柔軟性は身に付いているが、筋力や走力に課題があることが挙げられる。体力合計点は全国・県の平均に近いが、学年が上がるほど平均を下回る傾向や、男女の差が大きくなっていく傾向があるため引き続き教科体育や業間運動はもちろん、休み時間なども児童が進んで運動や外遊びを行うような環境を整えていきたい。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙

などから(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

体力面については、「各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる」の肯定的割合88.7%、部活動等で活動している割合が45%と運動習慣が身に付いている児童が多い。

保健面については、「食後丁寧に歯みがきをしている」の肯定的回答が児童91.7%、保護者91.3%であった。給食後の歯みがきでは、音楽に合わせて丁寧に歯をみがいている様子が見られる。

食の面については、「朝食を欠かさず食べている」の肯定的回答の児童は87.9%、「栄養のバランスを考えて食事をしている」の肯定的回答は91.0%であり、好き嫌いせずにバランスよく食べることの大切さを理解し、実践しようとする態度が身に付いている。

安全面については、交通安全教室や避難訓練に臨む態度から交通安全に関する意識の向上が見受けられる。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

体力については、児童は体育の授業に意欲的に取り組んでいる。特に、なわとび検定など学校全体で取り組んでいる検定は、意欲的に行う傾向にある。反面、運動の種類によっては、低学年から系統的な指導が必要なものがある。例えば、マット・跳び箱運動・鉄棒などの技の習得やボールの投げ方などである。この指導をより充実させる必要がある。

休み時間の過ごし方では、低・中学年は、休み時間ごとに外遊びをし、ルールや作戦などを変えながら、鬼ごっこやドッジボール、サッカーなどバラエティーに富んだ遊びをしている。また、一輪車や竹馬、固定遊具を使った遊びも見られる。高学年も、サッカーやドッジボールなどボール遊びを中心に外遊びをする児童が増えてきた。業間体育として、スポーツ集会(持久走及び縄跳び)を位置付けたことにより、外に出たがらない児童も、外へ出て運動する機会を作

ることができた。

保健については、養護教諭や学校歯科医、歯科衛生士による保健指導の他に、警察などの外部講師を招いた指導も取り入れており、より専門的な指導の充実を図っている。

食に関しては、給食委員会による献立の放送や学校栄養士との TT の授業など専門的な指導を受けることによって、健康教育への意欲付けを強化している。

安全については、年 2 回の交通安全教室で登下校時の歩き方や自転車の乗り方などを振り返る機会を設けるとともに普段の学校生活でも適時担任から指導している。

2 今年度の重点目標

「生涯にわたり心身の健康保持増進を図ることができる児童の育成」

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和 2 年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

（1）食育の啓発及び望ましい食習慣の形成

□学級活動において食育指導を行ったり、学校栄養士と連携した授業を行ったりして、食事の重要性や栄養バランスなどについて指導する。

★おにぎりの日やお弁当の日を活用して、食事について親子で共に考えたり、食への関心を高めたりする機会を設ける。

・マナーを守って楽しい食事ができるように、各階廊下にある食育コーナーやランチルームを整備し、食や栄養に対する意識を高める。

（2）健康・体力の向上

□宇都宮元気っ子チャレンジや各種検定に積極的に参加する。

★ミニマムをもとにしながら、補強運動や授業展開、業間体育などを工夫する。

★□教科体育の初めの時間に補強運動を取り入れ、敏捷性・持久力・投力の向上を促す。

★□教育活動全体を通した安全教育の実施・徹底、危機回避能力の育成を行う。

・歯科指導では、きらきらクラブを活用した個別指導の充実を図る。（通年）

・日常の姿勢指導や「目の体操」を行い、視力低下の予防を図る。（10 月）

□定期健康診断を適正に実施するとともに、年 2 回の歯科検診や長期休業明けの身体測定の実施など、年間を通して児童の健康の保持増進を図る。（通年）

□感染症や食中毒予防のための衛生管理や生活指導を行う。（通年）

□心の健康に関する指導の充実を図る。（児童指導との連携）

（3）家庭・地域との連携協力

★□保健だより、食育だよりを発行し、家庭と連携して児童の育成を図る。（通年）

★□学校保健・給食委員会を開催して、健康・体力・食育についての取組を発信し、これらの課題や具体策について検討する。（12 月）

□スクールガードチーフや警察と連携した防犯教室を実施する。

・小中一貫教育の視点から、「陽東地区学校園」で 9 年間分の食に関する資料等をファイルする「食育ファイル」を作成し有効活用する。

・留守家庭児童会指導員や地域の青少年育成会の方々と救急救命法講習会を実施する。

★□保護者や地域ボランティアに協力を呼びかけ、歯みがき指導（きらきらクラブ）を実施する。（11 月～2 月）

★陽東地区学校園で、歯や姿勢、目の健康に関する取組を系統的・継続的に行う。（通年）